



宝生苑と大住児童館がある  
大住ふれあいセンター



次田 典子 議員  
(無会派)

### 夜間中学への働きかけは 答 府教委と十分協議する

○ 平成29年度の施政方針は、新幹線と防災広場以外深みがない。憲法施行70年自らの一言も触れていない。防災広場は防災計画にも載っていないし、第3次総合計画にもない。憲法の男女平等に基づく女性や他の人権問題も十把一絡げの扱いだ。新幹線の誘致も市民がどれだけの費用負担をするのか。

○ 市 施政方針に書いていないことも、職員と一丸となりやってみよう。書いていないという問題ではない。

○ それでは何のための施政方針かと逆に問いたい。夜間中学校に関する法律ができ、文科省は手引書も作成した。府へ働きかけるとともに市独自で京都市立洛友中学校に直接働きかけるべき。

○ 市 法律には協議会の設置なども書かれている。府教委と十分協議していく。

○ 市内バス路線の減便について市の認識はどうか。高齢者へのバス代補助を早急に行うべきだと考えるが、現状の高齢者施設利用者に対する補助の実態はどうか。

○ 建設部長 利用者減少などにより、一部の路線で再編されるという話がある。

○ 健康福祉部長 2つの老人福祉センター利用者への片道分の補助は、26年度が3787人、27年度は4031人、65歳以上は1万2千人なのに、宝生苑へのバス利用者数が、実人数8人だと知っているのか。

○ 健康福祉部長 実人数を改めて調査する。



JR大住駅のホームから見た橋上通路



櫻井 立志 議員  
(公明党)

### 大住駅にエレベーターを 答 平成32年までを目標に

○ JR大住駅にエレベーターの設置を。

○ 市 市に早期設置を要請し、平成32年までの設置を目指す。

○ 子どもたちの通学路に防犯カメラの設置を。

○ 教育部長 子どもたちの安全確保や犯罪の抑止等について、他市の事例を研究したい。

○ 市庁舎玄関に防犯カメラの設置を。

○ 総務部長 29年度に、庁舎出入り口全てに設置を予定。

○ 府は29年度予算に、胃がん予防のためピロリ菌検査と除菌治療助成費を計上した。本市も導入する考えは。

○ 健康福祉部長 府の内視鏡検査でのピロリ菌陽性者に対する除菌治療助成と、高校生1年生に対するピロリ菌検査支援事業に、市も協力していきたい。市が実施するピロリ菌検査については、他市の状況を注視して検討したい。

○ 28年、国において自転車活用推進法が成立した。市は自転車専用道路の整備を進めているが、今後の予定は。

○ 建設部長 府が進める京都茶いぐるみラインやT-O-Iのコースにおいて、車道の端に自転車誘導ラインの設置、路面標示を実施し、整備を図る。

○ 公共交通の補完や観光戦略として、レンタル自転車事業の整備を進める考えは。

○ 建設部長 近鉄新田辺駅前指定管理者によるレンタル事業を実施している。近鉄三山木駅やJR松井山手駅など鉄道駅周辺での民間駐輪場事業者にも意見を聞きたい。



河原北口第一公園



南部 登志子 議員  
(無会派)

### 視覚障がい者外出支援を 答 専門機関を十分に紹介

○ 介護の課題。①介護難民が高齢者・障がい者ともに増加している。市の現状認識と課題は。②視覚障がいと認定されると白杖が支給されるが、現在、その使い方の講習は実施されず、ガイドヘルプも受けることができない。ガイドヘルプは事業所報酬が低いことも一因。上乗せ支給をするなど外出支援の対策を。

○ 健康福祉部長 ①いずれも認識。高齢介護は平成29年度よりデイサービスの選択肢を増やす。また、両者とも、30年度からの次期計画策定に向けて、ニーズの把握を行ない、整備の方向性やニーズに対応した供給方針について検討する。②白杖歩行はライトハウスなど専門機関が訪問訓練を実施。その周知に努める。事業所報酬は給付事業のため、上乗せは難しい。近隣市町村の意見を聞く中で、府を通じて要望できるのか検討する。

○ 公園の課題。①以前の条例・法律の中で設置された街区公園の中には、形状が細長く面積が極端に小さいものがある。また、遊具が植栽で覆われている、砂場に草が生い茂っているなど管理も不十分。改善と定期的な管理を。②花見山公園の野外ステージは非常に利用率が低い。規定を見直すなど改善を求める。

○ 建設部長 ①街区公園の形状改善の要望は聞いていない。日常的な管理は地元区や自治会にお願いしているが、高木町については市が4年に1回実施。②平均年約4回の利用。利用促進を進める。



同志社山手北バス停前の交差点  
(信号機設置前)



岡本 亮一 議員  
(共産党)

### 南部住民センター建設を 答 検討を進めている

○ 公共施設等総合管理計画の中で南部住民センターの必要性が盛り込まれているが、具体的にどう進めるのか。

○ 教育部長 現在、必要と考えられる機能や、その具体的な確保の方法について、広く民間施設の活用も併せ、検討を進めている。

○ 留守家庭児童会の支援員の配置については、各学級2名以上とすべき。

○ 教育部長 現在、主任も含めて3名で保育を行っているが、平成29年度においては、主任はできるだけ主任の業務に専任できるように配置をしたい。

○ 学期中、長期休業中の留守家庭児童会開設時間の延長を。

○ 教育部長 検討すべき課題

○ 市道南田三山木駅前線の供用開始に合わせ、29年3月27日からの運用が予定されている。

○ 南田三山木駅前線の供用開始に伴い、同志社山手地域から、三山木小学校へ通う児童の通学路が変更となる。その安全対策は。

○ 教育部長 供用開始までに南側へ防犯灯の設置を行う。また、交通安全整理員も配置をしていきたい。